

## 再評価結果（平成18年度事業継続箇所）

担 当 課：道路局国道・防災課  
担当課長名：鈴木克宗

<b>事業名</b> いっぱんこくどういちごう はままつ しんてんかくふく 一般国道1号 浜松バイパス(新天拡幅)	<b>事業区分</b> 一般国道	<b>事業主体</b> 国土交通省 中部地方整備局		
<b>起終点</b> 自：しずおかけんいわたしこだての 静岡 磐田市小立野 至：しずおかけんはままつしあんしんちよう 静岡 浜松市安新町		<b>延長</b> 3.0 km		
<b>事業概要</b> 一般国道1号は、首都圏と近畿圏を結ぶ重要な幹線道路です。そのうち、磐田市小立野から浜松市篠原に至る浜松バイパスは、現在、交通量の増大により慢性的な渋滞が発生しており、さらに天竜川を渡河する既設の新天竜川橋・天竜川橋は歩道・自転車道が無いことから歩行者や自転車などに対する安全性が確保されていない状況にあるため、天竜川を渡河する交通容量の確保と歩行者・自転車の交通安全の確保等を目的として4車線を8車線に拡幅計画された延長3kmの道路です。				
H8年度事業化      H8年度都市計画決定      H10年度用地着手      H11年度工事着手				
全体事業費      460億円      事業進捗率      79%      供用済延長      0.0km				
計画交通量      87,100台/日				
<b>費用対効果分析結果</b>	B/C : (事業全体) 1.3 (残事業) 7.1	総費用 : (残事業)/(事業全体) 82/457 億円 (事業費 : 66/441億円) (維持管理費 : 16/16億円)	総便益 : (残事業)/(事業全体) 579/579 億円 (走行時間短縮便益 : 450/450 億円) (走行費用減少便益 : 113/113 億円) (交通事故減少便益 : 16/16 億円)	基準年 : 平成17年
<b>事業の効果等</b> ・円滑なモビリティの確保(現道等の年間渋滞損失時間削減)      他 7項目に該当				
<b>関係する地方公共団体等の意見</b> 浜松バイパス新天拡幅事業は、国道1号天竜川渡河部の慢性的な渋滞が解消されることを期待されており、浜松市を初めとする関係2市3町の首長で構成される「浜松地域国道1号整備促進期成同盟会」より平成16年10月19日に早期完成の要望を受けている。				
<b>事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等</b> ・浜松を中心に天竜川渡河部に交通が集中 ・慢性的な渋滞が日常的に発生 ・自転車・歩行車道の未設置により、安全性が低い				
<b>事業の進捗状況、残事業の内容等</b> ・下り側橋梁架設工事を、全面的に展開・事業進捗率は79%(平成17年度末見込み) ・用地取得率は100%(平成17年度末見込み)				
<b>事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等</b> ・平成19年度に全線開通予定。				
<b>施設の構造や工法の変更等</b> ・全工事費約230億円のうち、約10%のコスト縮減(RC床版鋼箱桁からPC床版鋼桁へ変更、約17億円)を実施。				
<b>対応方針</b> 事業継続				
<b>対応方針決定の理由</b> ・以上の状況を勘案すれば、当初から事業の必要性、重要性は変わらないと考えられる。				
<b>事業概要図</b> 				

総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したものの。